

水の文化 都市を 養う水



ミツカン水の文化センター

表紙上：渋谷川は、都市中小河川の象徴のような存在だ。並木橋の上から、渋谷駅南東側を流れる上流を見る。左側（右岸）からは、水量維持のために落合処理場から送られた処理水が入って下流の水量を維持している。

表紙下：大規模災害を想定して開発が進む東京都の消防水利。地下150~250mぐらいにある滞留水を汲み上げる（震災時多機能型深層無限水利）、つまり深井戸は消火後には生活用水としても活用が見込まれている。

裏表紙上：用水路としての役目を終えて、歴史遺産となった二ヶ領用水（神奈川県川崎市）。円筒分水には、分配のための合意形成に心をくだいた先人の知恵が読み取れる。

裏表紙下：左から、お江戸日本橋と謳われた名所が、今はこの有様。チョンゲチョンの奇跡を日本にも、と願う気持ちがわからないでもない。都市河川の再生は、いったいどこから手をつけたらいいのだろう／向島用水（東京都日野市）の取水口すぐそばの駐輪場。ここは、農地が宅地になっても、用水路を守り続けることを選択した地域だ。



- 鳥越皓之「健康でおいしい水を飲む方法」
- 中村晋一郎「春の小川の蓋は開くか」
- 清川文絵「岩手・山田町『御蔵の湯』の秘密」
- 小倉紀雄「市民環境科学のすすめ」
- 小坂育子「たんけん・はっけん・ほっとけん」
- 編集部「次世代に引き継ぐ川の魅力」
- 三宅幸宏「東京の防災水利」
- 大塚恵一「都市型用水路の行方」
- 牧野容光「『青い金』水源と地下水についての考察」
- シリーズ里川「河川博物館の未来」
- 古賀邦雄 水の文化書誌「西日本 名水の旅へ」

水の文化
2012
42

水の文化 November 2012 No. **42**

